

## 3年 3学期【算数】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
15. □を使った式	数量の関係を表す式に道の数量を表す□を用いることを理解し、それらを活用して場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って場面を考え、□に当てはまる数の調べ方を理解したりしている。	数量の関係や場面に着目し、数量の関係を式や図を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて読み取ったりすることを通して未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。	未知の数量を□を用いて表すことで、場面を式や図に表せることの良さを振り返り、数理的な処理の良さに気付き、今後の生活や学習に活用しようとしている。
16. かけ算の筆算(2)	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を活用して、2～3位数×2位数の乗法を筆算で計算することができる。	数の構成や乗法について成り立つきまり、既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算の仕方について考え、説明している。	2～3位数×2位数の筆算について、既習の筆算の仕方を基に考えたことを振り返り、数理的な処理の良さに気付き、今後の生活や学習に活用しようとしている。
倍の計算	数量の関係や倍に意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や□を使った式などを用いながら、答えを求めることができる。	問題場面や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。	問題場面や数量の関係、倍の意味について考えた過程を振り返り、数理的な処理の良さに気付き、今後の生活や学習に活用しようとしている。
17. 三角形と角	二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の意味や性質、作図の仕方を理解している。	図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに、それらの作図の仕方について考え、説明している。	辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り、図形の敷詰めなどの活動によって模様の美しさや平面の広がり気付き、今後の生活や学習に活用しようとしている。
18. ぼうグラフと表	観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して、表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。	目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。	データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事象について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理の良さに気付き、今後の生活や学習に活用しようとしている。
そろばん	そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し、それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。	そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の入れ方や取り方を考え、説明している。	そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り、数理的な処理の良さに気付き、今後の生活や学習に活用しようとしている。